平成29年度 健康科学大学 卒業生アンケート(卒業後1年・3年経過)

一結果報告一

2018年 3月

健康科学大学

調査概要

1.調査目的

本調査は、健康科学大学卒業生の皆様から本学に対する忌憚のない意見をうかがい、お寄せいただいた意見を今後の大学の運営に活用するため実施する。

2.調査対象 健康科学大学を卒業し、3年(平成26年3月卒業)を経過した方・及び卒業直後(平成29年3月卒業)の方

3.調査方法 配布・回収

4.調査実施時期 配布日時:平成29年7月27日 回収期限:平成29年8月31日

5.依頼数、回収数、回収率

区分	調査対象	依頼数	回収数	回収率
合計	対象者	324	66	20.37%
卒業期別	平成26年卒業	134	17	12.69%
华未 别剂	平成29年卒業	190	49	25.79%
	理学療法学科	166	25	15.06%
学科別	作業療法学科	99	30	30.30%
	福祉心理学科	59	11	18.64%

■考察

卒業後3年以内の卒業生を対象にアンケート調査用紙を配布した。特に実家への帰省時期に合わせて実施したが結果的に回収率は低かった。

まず、問1~6までの回答者は男性が多く、学科別では作業療法学科卒業生の回答が多かった。

クラブ・サークルに所属していた者が半数であった。

医療・福祉の関連業務に従事している者が圧倒的に多かったが、関連する職業についていない者も約1割いた。

次に問7~10までの大学時代の振り返りについて。

カリキュラムの満足度は高いとは言えないが、不満を感じた卒業生は少ない結果となった。

就職支援については、概ね満足している様子がうかがえる。、

経済的支援に関しては、不満を感じる卒業生は少なかったが、「どちらともいえない」を選ぶ卒業生が圧倒的に多く、全体的に満足しているとは言えない結果となっ 施設・設備に関してはほぼ同数の回答結果となり、今後改善の余地があると思われる。

問11~19までの現在の考え・状況について。

修得した知識・技術について、関連業務に従事している卒業生が8割強いるため、「役立っている」と答えた卒業生が圧倒的に多い結果となった。 臨床実習について「役立っている」と答えた卒業生が約9割と多い結果となった。一方、社会的スキルの役立ちについては、「役立っている」と答えた卒業生は 5割弱という結果となった。

現在の仕事への満足度は4割強にとどまった。また、仕事への自己投資に対しては積極的であると答えた卒業生は多かったが、仕事への将来ビジョンがあるかく問いに対しては、「はい」と答えた割合が半分以下という結果から、本人の積極性の問題ではなく、将来のビジョンが見えない卒業生もいるのではないかと推測されただ卒後1年及び3年しか経過していないため、明確なキャリアビジョンはこれから徐々に形成していくと思われる。

研究等への取り組み及び研究発表の有無については「いいえ」を選ぶ割合が高く、研究等への関心は低いことが見て取れた。

本学を利用しての研究の要望はあまり高くない結果となったが、自由回答を見ると、本学の設備に問題があるだけで研究に関心のある卒業生は少なくないことがわかった。このことから、研究よりも臨床と感じている卒業生が多いことも自由記入から見て取ることができた。

問20~26までの本学に対する意見等について。

教育内容充実のために力を入れるべき分野は臨床技術・専門知識という専門職に不可欠な分野に次いで、対人関係と答える卒業生が多かった。 人間形成のため学生支援を充実させる分野は全体的にはあまり差がない結果となったが、理学療法学科は部活動に、作業療法学科は部活動及び就職支援に、 福祉心理学科は設備・施設に対する意見が多かった。

本学への協力については、7割近くが「はい」と答えていただき大変ありがたい結果となった。

卒業後の来校については、「はい」が75%だった。学科による偏りはないため、来校理由は臨床実習の担当者としてだけではないことが推察できる。
卒業後に本学のホームページを見たと回答したのは約4割と、やや低い結果となった。フェイスブックやライン等で健康科学大学の情報を得ている可能性がある。
情報発信の充実に関しては「はい」と答える卒業生は「いいえ」よりも少ない結果となったが、ホームページを見ている卒業生が少ないながらも
一定数存在しているものの、ホームページでの情報発信に魅力を感じていないことが分かった。今後はSNSなどを利用するなど、他の手段で
卒後教育への参加については「はい」が最も多く、「いいえ」と答えた卒業生は少ないことから、本学に関心を寄せる卒業生が多いことがみてとれた。
自由記入欄からも本学の活躍に期待している意見があり、内容と開催地にもよるが卒後教育を受けたい卒業生は決して少なくないことが分かった。
いずれの結果からも本学への関心が高い卒業生が積極的にアンケート調査に協力していただいたものと考えることができる。

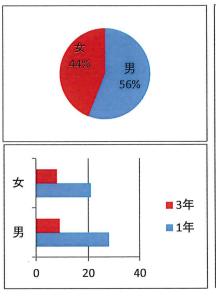
問1.性別 回答数は昨年と比べてやや少なくなった。(75→66)

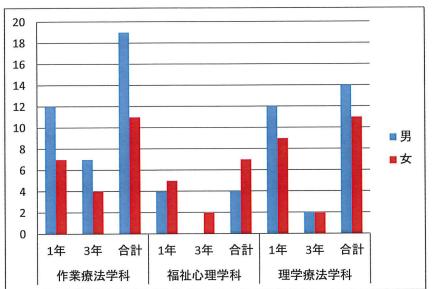
△ =1	男	女
ΠĀI	37	29

回答数66

学科	卒業後	男	女
	1年	12	7
作業療法学科	3年	7	4
	合計	19	11
	1年	4	5
福祉心理学科	3年	0	2
	合計	4	7
	1年	12	9
理学療法学科	3年	2	2
	合計	14	11

卒業後	男	女
1年	28	21
3年	9	8

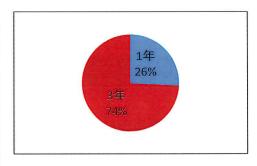


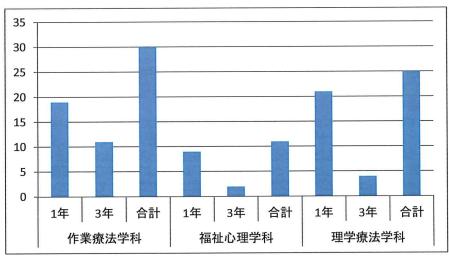


問2.卒業後の年数 理学・作業療法学科の卒後1年以内の卒業生からの回答が比較的多かった。

合計 1年 3年 17 49			回答数66
17 49	스타	1年	3年
	日前	17	49

学科	卒業後	人数
	1年	19
作業療法学科	3年	11
	合計	30
	1年	9
福祉心理学科	3年	2
	合計	11
	1年	21
理学療法学科	3年	4
	合計	25





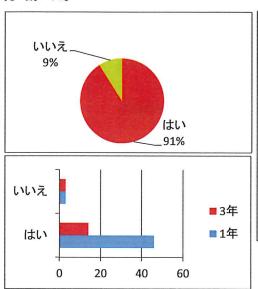
問3.関連業務への就職

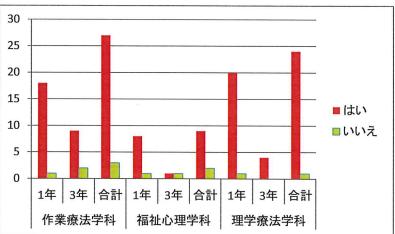
本学で学んだことに関連する職業についていない卒業生が約1割いた。

스타	はい	いいえ	
日前	60	6	回答数66

学科	卒業後	はい	いいえ
	1年	18	1
作業療法学科	3年	9	2
	合計	27	3
	1年	8	1
福祉心理学科	3年	1	1
	合計	9	2
	1年	20	1
理学療法学科	3年	4	0
	合計	24	1

卒業後	はい	いいえ
1年	46	3
3年	14	3



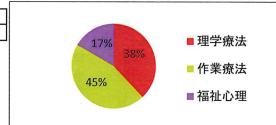


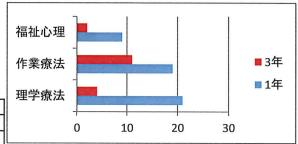
問4.学科 回答が最も多かったのは作業療法学科の卒業生だった。

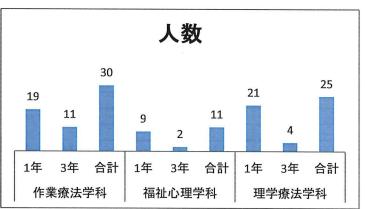
스타	理学療法	作業療法	福祉心理
	25	30	11

学科	卒業後	人数	回答数66
	1年	19	
作業療法学科	3年	11	
	合計	30	
	1年	9	
福祉心理学科	3年	2	
	合計	11	
	1年	21	
理学療法学科	3年	4	
	合計	25	

卒業後	理学療法	作業療法	福祉心理
1年	21	19	9
3年	4	11	2







問5.住まい

스타

アパート住まいをしていた卒業生が約6割強と圧倒的に多い結果となった。

アパート

親戚等

8

15

2

2

百百	15	43	8	回答数66
学科	卒業後	実家	アパート	親戚等
	1年	6	9	4
作業療法学科	3年	2	8	1
	合計	8	17	5
	1年	2	6	1
福祉心理学科	3年	0	2	0

2

4

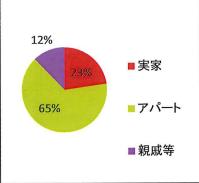
	合計	5	18
卒業後	宝 家	アパート	親戚等
1年	12	30	7
3年	3	13	1

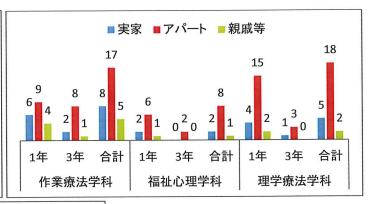
実家

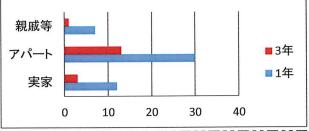
合計

1年

3年







問6.サークル所属

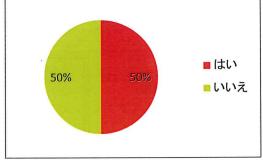
理学療法学科

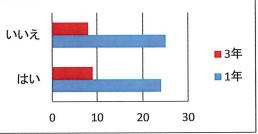
全体的には約半数がサークル等に所属していたようである。

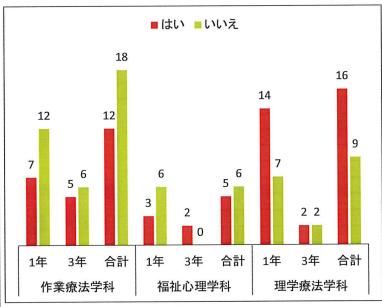
스타	はい	いいえ	
ΠĀI	33	33	回答数66

学科	卒業後	はい	いいえ
	1年	7	12
作業療法学科	3年	5	6
	合計	12	18
	1年	3	6
福祉心理学科	3年	2	0
	合計	5	6
	1年	14	7
理学療法学科	3年	2	2
	合計	16	9

卒業後	はい	いいえ
1年	24	25
3年	9	8







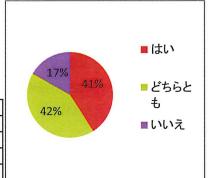
問7.カリキュラムの充実

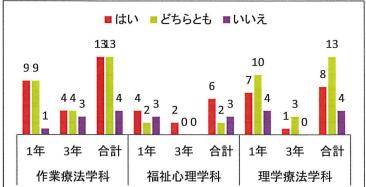
「いいえ」を選ぶ卒業生は少ないが、「どちらともいえない」と「はい」を選ぶ卒業生がほぼ同数となった。

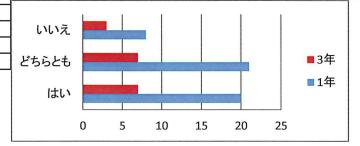
合計	はい	どちらとも	いいえ	
日前	27	28	11	回答数66

学科	卒業後	はい	どちらとも	いいえ
	1年	9	9	1
作業療法学科	3年	4	4	3
	合計	13	13	4
*	1年	4	2	3
福祉心理学科	3年	2	0	0
	合計	6	2	3
	1年	7	10	4
理学療法学科	3年	1	3	0
	合計	8	13	4

卒業後	はい	どちらとも	いいえ
1年	20	21	8
3年	7	7	3







問8.就職支援の充実

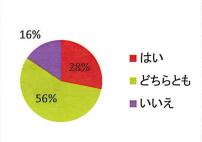
「いいえ」と回答する学生は少ない傾向が見られた。

大学からの更なる支援を期待している学生が増加していることが伺える。

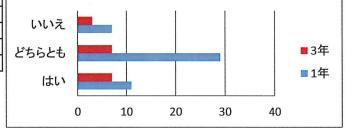
A =1	はい	どちらとも	いいえ	
合計	18	36	10	回答数64
				•

学科	卒業後	はい	どちらとも	いいえ
	1年	5	11	2
作業療法学科	3年	3	6	2
	合計	8	17	4
	1年	1	7	1
福祉心理学科	3年	1	1	0
	合計	2	8	1
	1年	5	11	4
理学療法学科	3年	3	0	1
	合計	8	11	5

卒業後	はい	どちらとも	いいえ
1年	11	29	7
3年	7	7	3







問9.経済支援の充実

どちらともいえないを選ぶ卒業生が半数以上と多い結果となった。

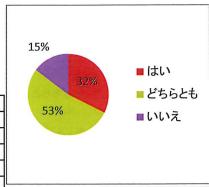
스計	はい	どちらとも	いいえ
	22	36	10

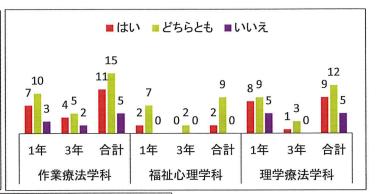
回答数66

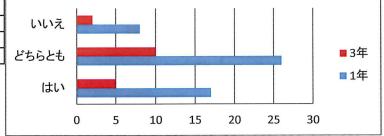
回答数66

学科	卒業後	はい	どちらとも	いいえ
	1年	7	10	3
作業療法学科	3年	4	5	2
	合計	11	15	5
	1年	2	7	0
福祉心理学科	3年	0	2	0
	合計	2	9	0
	1年	8	9	5
理学療法学科[3年	1	3	0
	合計	9	12	5

卒業後	はい	どちらとも	いいえ
1年	17	26	8
3年	5	10	2







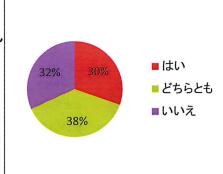
問10.施設・設備の充実

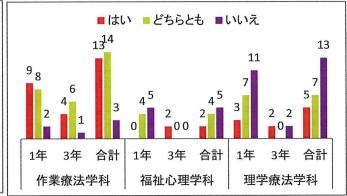
ほぼ同数の回答結果となった。在学生からも要望が多い施設・設備に 関しては、改善している部分もあるが、本学の今後の大きな課題であるとし

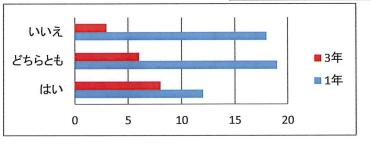
스타	はい	どちらとも	いいえ
PH	20	25	21

学科	卒業後	はい	どちらとも	いいえ
	1年	9	8	2
作業療法学科	3年	4	6	1
	合計	13	14	3
福祉心理学科	1年	0	4	5
	3年	2	0	0
	合計	2	4	5
	1年	3	7	11
理学療法学科[3年	2	0	2
	合計	5	7	13

卒業後	はい	どちらとも	いいえ
1年	12	19	18
3年	8	6	3







問11.修得した知識・技術の役立ち

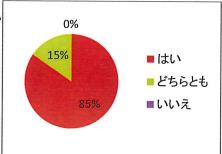
関連職業に就いた卒業生が多いことから、こちらは「はい」が圧倒的に多か

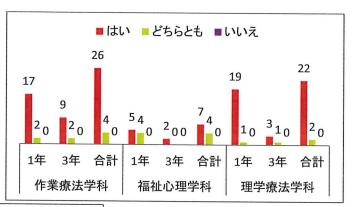
스計	はい	どちらとも	いいえ	
HHI	55	10	0	回

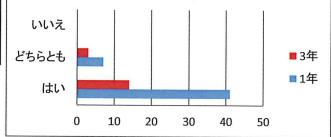
回往	车类	汝(35

学科	卒業後	はい	どちらとも	いいえ
	1年	17	2	0
作業療法学科	3年	9	2	0
	合計	26	4	0
	1年	5	4	0
福祉心理学科	3年	2	0	0
	合計	7	4	0
	1年	19	1	0
理学療法学科[3年	3	1	0
	合計	22	2	0

卒業後	はい	どちらとも	いいえ
1年	41	7	0
3年	14	3	0







問12.臨床実習の役立ち

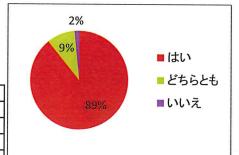
臨床実習については役立ったと感じる卒業生が多かった。

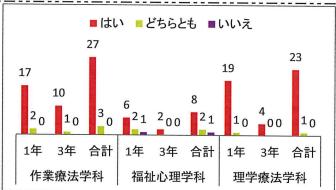
스타	はい	どちらとも	いいえ
	58	6	1

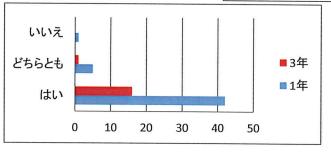
回答数65

444 44				
学科	卒業後	はい	どちらとも	いいえ
	1年	17	2	0
作業療法学科		10	1	0
	合計	27	3	0
and the N	1年	6	2	1
福祉心理学科		2	0	0
	合計	8	2	1
	1年	19	1	0
理学療法学科[3年	4	0	0
	合計	23	1	0

卒業後	はい	どちらとも	いいえ
1年	42	5	1
3年	16	1	0







問13.社会的スキルの役立ち

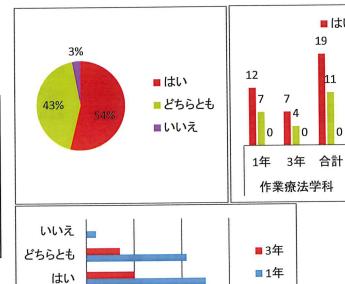
知識・技術や臨床実習の役立ちに比べ「はい」が少ない結果となった。

스타	はい	どちらとも	いいえ
日前	35	28	2

回答数65

学科	卒業後	はい	どちらとも	いいえ
	1年	12	7	0
作業療法学科	3年	7	4	0
	合計	19	11	0
	1年	4	5	0
福祉心理学科	3年	0	2	0
	合計	4	7	0
	1年	9	9	2
理学療法学科	3年	3	1	0
	合計	12	10	2

卒業後	はい	どちらとも	いいえ
1年	25	21	2
3年	10	7	0



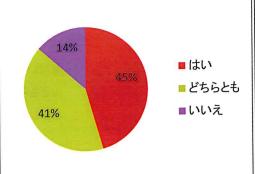
問14.現在の仕事に満足

「はい」と答えた卒業生が約5割ほどで、「いいえ」を選ぶ割合も少なく 比較的満足度は高い結果となった。

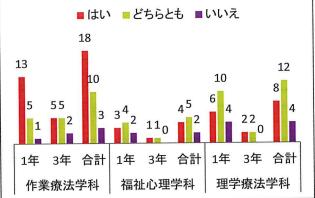
Δ₹	はい	どちらとも	いいえ	
百百	30	27	9	」 回答数66

学科	卒業後	はい	どちらとも	いいえ
	1年	13	5	1
作業療法学科	3年	5	5	2
	合計	18	10	3
福祉心理学科	1年	3	4	2
	3年	1	1	0
	合計	4	5	2
	1年	6	10	4
理学療法学科	3年	2	2	0
	合計	8	12	4

卒業後	はい	どちらとも	いいえ
1年	22	19	7
3年	8	8	2



10



■はい ■どちらとも ■いいえ

3年 合計

福祉心理学科

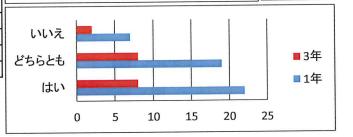
1年

1年

3年 合計

理学療法学科

19



20

30

問15.研究等への取り組み

「いいえ」を選択する卒業生が多く、

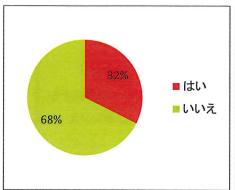
特に理学・作業療法学科に多かった。

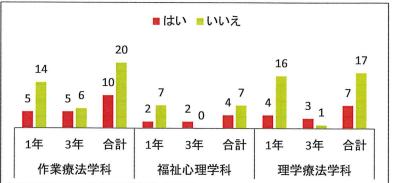
스타	はい	いいえ
PPI	21	44

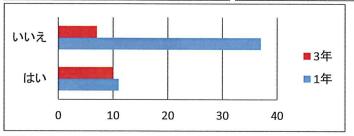
回答数65

学科	卒業後	はい	いいえ
	1年	5	14
作業療法学科	3年	5	6
	合計	10	20
	1年	2	7
福祉心理学科	3年	2	0
	合計	4	7
	1年	4	16
理学療法学科	3年	3	1
	合計	7	17

卒業後	はい	いいえ
1年	11	37
3年	10	7







問16.研究発表の有無

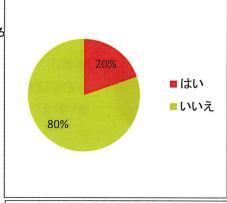
問15と同じく、「いいえ」を選択する卒業生が8割と多かった。

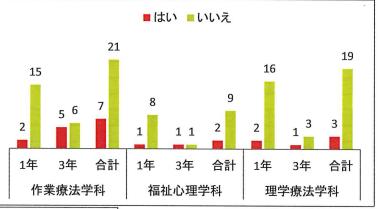
卒後1年及び3年経過の卒業生に送付したため、このような結果となったのであろ

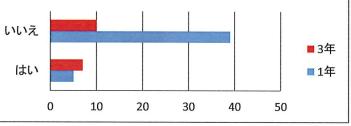
스타	はい	いいえ]
PAI	12	49	回答数61

学科	卒業後	はい	いいえ
	1年	2	15
作業療法学科	3年	5	6
	合計	7	21
	1年	1	8
福祉心理学科	3年	1	1
	合計	2	9
理学療法学科	1年	2	16
	3年	1	3
	合計	3	19

卒業後	はい	いいえ
1年	5	39
3年	7	10







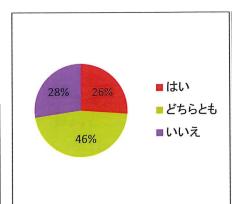
問17.本学を利用しての研究の要望 「どちらとも」選ぶ割合が多いが、卒後1年及び3年経過の卒業生に送付 したため、このような結果となった。

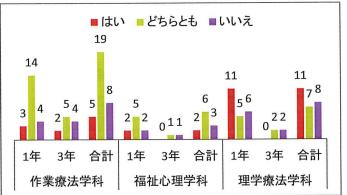
ひただめてしからずる情景といった。					
ᄉᆉ	はい	どちらとも	いいえ		
口面	18	32	19		

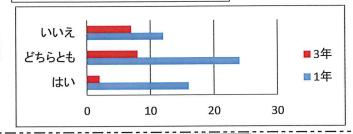
回答数69

学科	卒業後	はい	どちらとも	いいえ
	1年	3	14	4
作業療法学科	3年	2	5	4
	合計	5	19	8
福祉心理学科	1年	2	5	2
	3年	0	1	1
	合計	2	6	3
	1年	11	5	6
理学療法学科	3年	0	2	2
	合計	11	7	8

卒業後	はい	どちらとも	いいえ
1年	16	24	12
3年	2	8	7







問18.仕事への自己投資に積極的か 積極的であるとした卒業生の割合が半数を超えている。

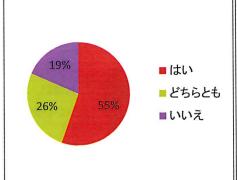
스타	はい	どちらとも	いいえ	
日前	36	17	12	回答数65

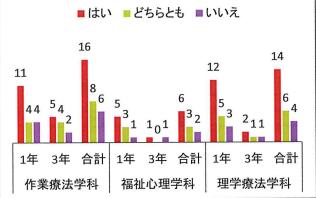
学科	卒業後	はい	どちらとも	いいえ
	1年	11	4	4
作業療法学科	3年	5	4	2
	合計	16	8	6
福祉心理学科	1年	5	3	1
	3年	1	0	1
	合計	6	3	2
	1年	12	5	3
理学療法学科	3年	2	1	1
理学療法学科			3 5 1	2 3 1

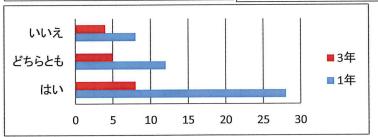
14

卒業後	はい	どちらとも	いいえ
1年	28	12	8
3年	8	5	4

合計







問19.仕事の将来のビジョンがあるか

卒後1年及び3年経過の卒業生に送付したため、「どちらともいえない」を 選ぶ卒業生がが多かった。キャリアビジョンは現在構築中であると推測さ

스타	はい	どちらとも	いいえ	1
H PI	24	31	10	回答数6

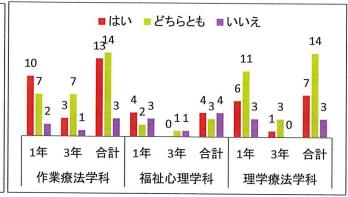
- Andrew 1887
回答数65

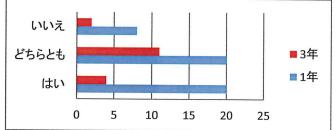
回答数65

学科	卒業後	はい	どちらとも	いいえ
	1年	10	7	2
作業療法学科	3年	3	7	1
	合計	13	14	3
福祉心理学科	1年	4	2	3
	3年	0	1	1
	合計	4	3	4
	1年	6	11	3
理学療法学科	3年	1	3	0
	合計	7	14	3

卒業後	はい	どちらとも	いいえ
1年	20	20	8
3年	4	11	2

15% ■はい ■どちらとも 48% ■いいえ





問20.本学への協力

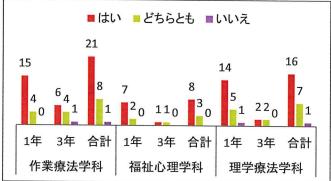
学科を問わず実習等への協力について、ご賛同いただく卒業生が多く 本学としては大変ありがたい結果となった。

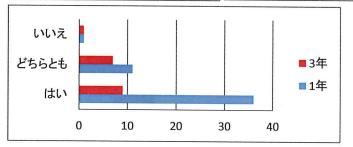
스타	はい	どちらとも	いいえ
D FI	45	18	2

学科	卒業後	はい	どちらとも	いいえ
	1年	15	4	0
作業療法学科	3年	6	4	1
	合計	21	8	1
	1年	7	2	0
福祉心理学科	3年	1	1	0
	合計	8	3	0
	1年	14	5	1
理学療法学科	3年	2	2	0
	合計	16	7	1

卒業後	はい	どちらとも	いいえ
1年	36	11	1
3年	9	7	1







問21.卒業後の来校

「はい」と「いいえ」がほぼ同数となり、学科に偏りがないため、実習指導 者会議での指導者としての来校だけが要因ではないことが推測される

스타	はい	いいえ	
ΠĀI	31	33	

回答数64

学科	卒業後	はい	いいえ
	1年	5	13
作業療法学科	3年	7	4
	合計	12	17
	1年	5	4
福祉心理学科	3年	2	0
	合計	7	4
	1年	9	11
理学療法学科	3年	3	1
	合計	12	12

Z	产業後	はい	いいえ	
	1年	19	28	
	3年	12	5	

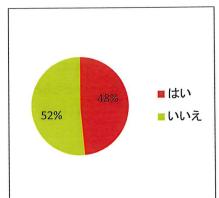
問22.本学のHPを見たか

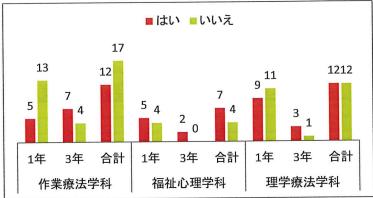
学科・卒業後を問わず、HPを見ている割合は約4割となった。

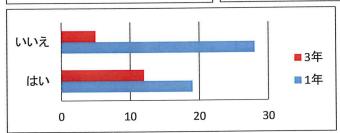
스타	はい	いいえ	
日前	24	38	回答数62

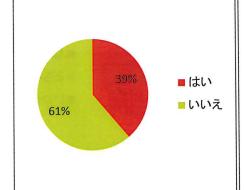
学科	卒業後	はい	いいえ
	1年	8	10
作業療法学科	3年	3	7
	合計	11	17
	1年	4	4
福祉心理学科	3年	2	0
	合計	6	4
	1年	6	14
理学療法学科	3年	1	3
	合計	7	17

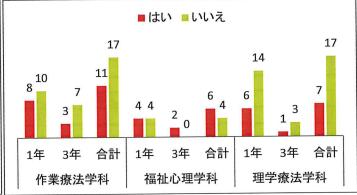
卒業後	はい	いいえ
1年	18	28
3年	6	10

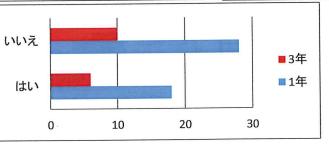












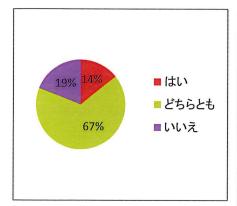
問23.情報発信の充実

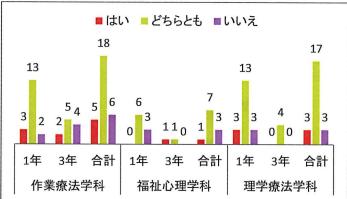
「はい」と答える卒業生が少ない。問22からHPを見ている卒業生が一定数存在するが、HPでの情報発信に充実感を感じていないことがわかった。今後はSNSなどを利用した情報発信に重きを置いていくべきであろう

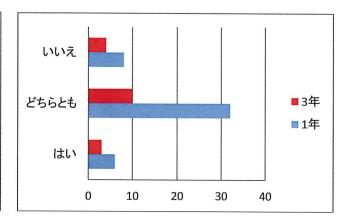
合計	はい	どちらとも	いいえ	
H HI	9	42	12	回答数63

学科	卒業後	はい	どちらとも	いいえ
	1年	3	13	2
作業療法学科	3年	2	5	4
	合計	5	18	6
	1年	0	6	3
福祉心理学科	3年	1	1	0
	合計	1	7	3
WATER 182 FOX 2022 NO.22	1年	3	13	3
理学療法学科	3年	0	4	0
	合計	3	17	3

卒業後	はい	どちらとも	いいえ
1年	6	32	8
3年	3	10	4







問24.教育内容充実のために力を入れるべき分野(複数)

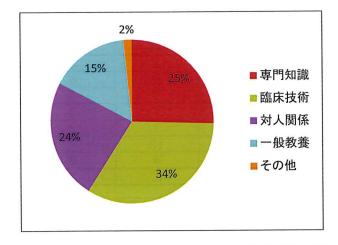
複数回答の設問で、臨床技術と専門知識に次いで対人関係に力を入れるべきという回答が多い結果となった。また、対人関係は学科に関わらず回答が多い結果となった。

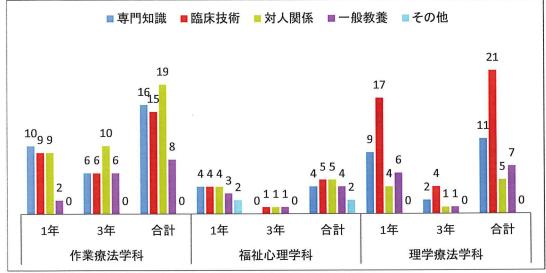
Δ=1	専門知識	臨床技術	対人関係	一般教養	その他
百百	31	41	29	19	2

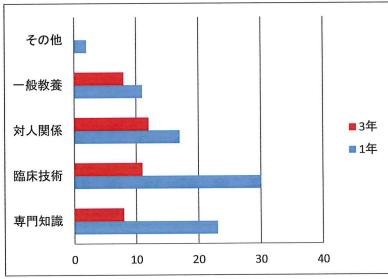
答数1	22

学科	卒業後	専門知識	臨床技術	対人関係	一般教養	その他
	1年	10	9	9	2	0
作業療法学科	3年	6	6	10	6	0
	合計	16	15	19	8	0
	1年	4	4	4	3	2
福祉心理学科	3年	0	1	1	1	0
	合計	4	5	5	4	2
	1年	9	17	4	6	0
理学療法学科	3年	2	4	1	1	0
	合計	11	21	5	7	0

卒業後	専門知識	臨床技術	対人関係	一般教養	その他
1年	23	30	17	11	2
3年	8	11	12	8	0







問25.人間形成のために学生支援を充実させるべき分野(複数)

部活及び設備・施設に回答が集まったが、その他の選択肢にもまんべんなく回答があった。

理学療法学科は部活に、作業療法学科は部活及び就職支援に、福祉心理学科は設備・施設に回答が多かった。

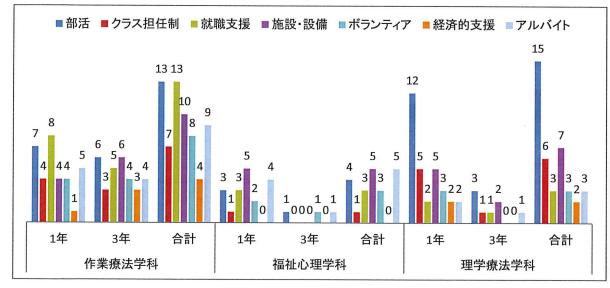
스타	部活	クラス担任制	就職支援	施設・設備	ボランティア	経済的支援	アルバイト	1
日前	32	14	19	22	14	6	17	

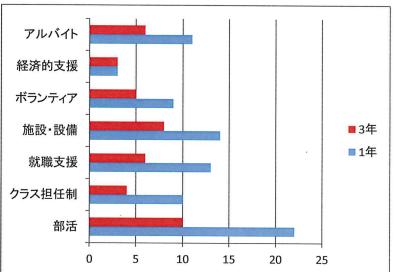
回答数124

学科	卒業後	部活	クラス担任制	就職支援	施設•設備	ボランティア	経済的支援	アルバイト
	1年	7	4	8	4	4	1	5
作業療法学科		6	3	5	6	4	3	4
	合計	13	7	13	10	8	4	9
	1年	3	1	3	5	2	0	4
福祉心理学科		1	0	0	0	1	0	1
	合計	4	1	3	5	3	0	5
	1年	12	5	2	5	3	2	2
理学療法学科[3	1	1	2	0	0	1
	合計	15	6	3	7	3	2	3

5% 14% 26% 11% 18% 15%	■部活■クラス担任制■就職支援■施設・設備■ボランティア
------------------------	--

卒業後	部活	クラス担任制	就職支援	施設•設備	ボランティア	経済的支援	アルバイト
1年	22	10	13	14	9	3	11
3年	10	4	6	8	5	3	6





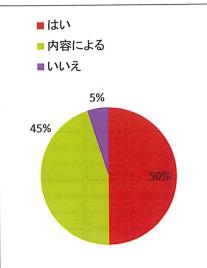
問26.卒後教育への参加

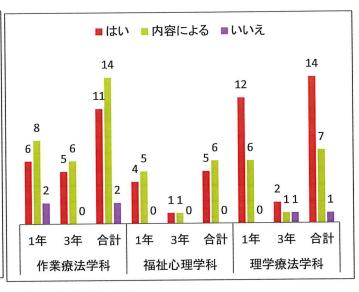
「内容による」と回答した卒業生が約半数の割合を超えた結果となった。 本学の立地から遠方の卒業生が多い中、「はい」と回答する学生が半数を占めたことは特筆すべきである。

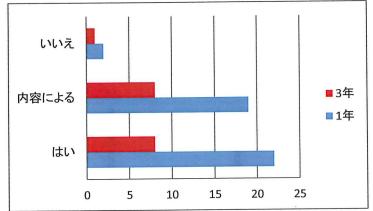
∆ =1	はい	内容による	いいえ	
日前	30	27	3	回答数60

<u> </u>				
学科	卒業後	はい	内容による	いいえ
	1年	6	8	2
作業療法学科	3年	5	6	0
	合計	11	14	2
	1年	4	5	0
福祉心理学科	3年	1	1	0
	合計	5	6	0
	1年	12	6	0
理学療法学科	3年	2	1	1
	合計	14	7	1

卒業後	はい	内容による	いいえ
1年	22	19	2
3年	8	8	1







■自由記入欄について

【問7~10】

全体的に施設・設備への不満について意見が多く書かれていた。また、食堂への要望も多く寄せられた。

【問11~19】

研究等や仕事に関しての更なる勉強に興味や意欲を示す卒業生から意見をいただけた。 しかし、本学の設備不足を理由に利用しにくさを感じるという意見もあった。

【問20~26】

卒後教育への理解や興味を示す意見が数件見られた。また、山梨だけではなく、他県で開催してほしいという意見もあった。 また、卒後教育研修会に参加したいため、早めに開催日程を知らせてほしいとの意見もあった。

卒業後	性別	学科	自由回答 問7~10について
8期生	男	作業療法学科	もっと視野を広げるために先生が一方的に教える授業はなくてもいいので、アプローチについて考えさせられる時間を増やしていただきたいと思います。
8期生	男	作業療法学科	図書館の利用時間が短い。
8期生	男	作業療法学科	実習で行う検査指導や練習をする環境が当時は整っていなかった。介助方法をゲループ間で練習したうえで、臨床実習に整える準備が必要だった。
8期生	女	福祉心理学科	食堂は、ご飯のメニューが多くてよかったし、おいしかった。図書館も個々で勉強できるスペースがあり、よく利用していた。便利だった。
11期生	男	福祉心理学科	食堂のメニューをもっと充実させたほうがいいと思う。
11期生	女	作業療法学科	エアコン等冷房の設備が充実していると勉強や授業がしやすい、聞きやすい環境かと思います。
11期生	男	作業療法学科	3年次に実習がなかったのは後々苦労した。
11期生	女	作業療法学科	実習費をもう少し大学側で負担してほしかった。図書館にエアコンがあれば、勉強もはかどると思った。
11期生	男	作業療法学科	就職活動に対応する職員が1人だと大変だった。
11期生	男	作業療法学科	食堂のメニューがもう少し安ければ…
11期生	女	福祉心理学科	せっかくÅDL室があるのに、授業ではほとんど使わないのと、授業で使い方をやらせないために、ADL室の物品をうまく学習にいかせない。
11期生	男	理学療法学科	授業:実技や手技の授業を増やしてほしい。施設・設備:土日も大学の開放をしてほしい。
11期生	男	理学療法学科	食堂は、特に日替わり定食はメニューがワンパターンであまり期待できるものではない。土日も図書館は使えるようにするべき。
11期生	男	理学療法学科	食堂のメニューを増やしてほしい。
11期生	男	理学療法学科	食堂が小さい。メニューを増やす必要があると考える。
11期生	男	理学療法学科	駐車場の整備が不十分、台数と広さのバランスが適切でない。砂利ではなくアスファルトにすることで、駐車スペースが明確になり、効率よく駐車できると思う。

卒業後	性別	学科	自由回答 問11~19について
8期生	男	作業療法学科	今は出産・子育ての時期。OTとしての在り方や目標について考えるのは難しいです。でもいつかは天職といえるようにビジョンを持ちたいです。
8期生			研究について全員が学んでいきやすい環境がほしかった。私の時は卒業研究もやらなくても卒業することが出来たし、研究をやった内容も何とも言えないものであったように感じた。大学を出ている以上、論文、研究発表はきちんとした方がよい。
11期生	女	作業療法学科	卒業後3か月が経過し、少し筒づつ仕事に慣れてきましたが、現在の仕事に満足しているかと問われると、まだまだ分からないです。新人のうちに色々な経験をすることで、知識や技術を身につけて、仕事の幅を広げていけたらと思っています。
11期生			お世話になった先生方と何か共同研究やお手伝いが出来ればうれしいのですが、設備が整っていないので難しいと思います。
11期生	女	福祉心理学科	問11~13 学校の学習はあくまでも国家試験対策なので、あまり臨床と結びつかない。高次脳機構評価のスケールだけではなく、結果の解釈、考察の仕方を もっと学びたかった。
11期生	男	理学療法学科	実習を増やしてほしい。
11期生	女	理学療法学科	数年幅広い経験を積んでから専門分野を中心に働きたい。
11期生	男	理学療法学科	自分から積極的に学会などに参加し、知識を積み重ねていきたい。

卒業後	性別	学科	自由回答 問20~26について
8期生	男	作業療法学科	自己投資も大切だと思いますが、教育内容を充実させたり、5年制にしたり専門分野を早くからコース分けしてその時間もあるが少なすぎる。深く勉強できるようにするなど、OTの分野は広すぎるので、何かしらの対策を取るべきではないかと思います。
8期生	女	福祉心理学科	社会に出ると、人間関係に悩む人が多くいるため、学生のうちから人間関係の能力を高めていくといいと思う。また、一般教養も必要と感じた。
8期生	女	理学療法学科	卒後教育ですが、2か月くらい前に日時の発表があると仕事の休みを取りやすいので、なるべく早くわかると助かります。ぜひ参加したいです。
8期生	男	理学療法学科	他校の実習生をバイザーとして指導させていただく機会がありましたが、対人関係や基礎知識から考える力が備わっていない学生が多いと思う。学生として、最 低限求められる部分がかけている人が多いため、本学の学生にしてはそのことを頑張ってほしい。
11期生	男	作業療法学科	人とのかかわり方、接遇について学べる機会がたくさんあるといいと思う。
11期生	男	作業療法学科	問26:参加したいと思うが、就職先の休日状況にもよるかもしれない。
11期生	女	作業療法学科	就職して4か月になりますが知識はあっても、技術がなくて不安になるし、追いつけないです。実習だけでは習得できないし、実習時にも役立つと思います。
11期生	男	福祉心理学科	介護職で働いているのですが、人手が本当に足りていません。看護学部に「介護科」という学部の検討をお願いしたいです。
11期生	男	福祉心理学科	クラス担任制度に関して、教員数が不足していると在学中から感じていたのですが、現実的に不可能だと。
11期生	女	福祉心理学科	教育をする側としてしっかりと足場を固めてほしいなとは思っていました。
11期生	女	理学療法学科	卒後教育はぜひ開催してほしい。問26の内容はもちろん、社会人となってからの情報交換の場にもなるし、自分のモチベーションにつながると思うので参加したい。
11期生	non-re-		卒後教育を山梨だけではなく、静岡でも実施してほしい。
11期生	女	理学療法学科	8/10に高村先生による研修会に参加しました。とても充実し、勉強になる時間を過ごすことが出来ました。今後も続けていただけたらと思います。
11期生	男	理学療法学科	サークル活動、紹介の部分を随時更新すると情報を得ることができると思う。